

## J:COM せたまち 第 26 回 放送番組審議会 概要

第 26 回の放送番組審議会は、2010 年 11 月 17 日(水)に新百合ヶ丘で開催された。

### <放送番組審議会委員>

立 川 一 成 様 (委員長)

斉 藤 由 紀 恵 様      前 川 英 樹 様

木 村 紘 様      金 指 厚 子 様 \* 木村様、金指様から委員長へ委任状の提出あり

立川委員長の進行により、事業者側から経営状況説明及び営業状況説明、J:COMチャンネル(コミュニティチャンネル)について概況の説明があった。

### 【質疑応答・意見交換】

質問① 中京地区にはJ:COMの局はないのか。また、事業の構成はどうなっているのか。

回答① 残念ながら中京地区に局はない。テレビの収益が多く、ジュピターテレコムの子株主構成も変化し、住友商事、KDDIと続いている。今後、KDDIとは携帯電話事業、無線インターネットなどで連携を図っていく予定である。

質問② 日本の有料多チャンネル放送市場のグラフにおいて、ケーブルテレビの伸び率は地上デジタル化の影響があるのか。

回答② 地上デジタル化の影響は確実にある。対策としては、アンテナ、ケーブルテレビ、光テレビがあるが、J:COMでは同時に多チャンネルを訴求し加入促進を図っている。

質問③ MyStyleサービスの内容を詳しく伺いたい。また、地上デジタル化に関して、南関東の集合住宅対策が課題となっている。J:COMに協力してもらいたいと思う。VODサービスは相当拡充したものだと感じる。先行配信、追っかけ再生は面白い試みである。

回答③ MyStyleサービスには、地上デジタル再送信、BSデジタル再送信、VODサービス、電話サービスの基本料金が含まれている。

質問④ 同時刻でも地域によって放送内容が違うものがあるのか。また広告収入の規模はどのくらいか。

回答④ 同時刻でも地域によって行政の広報番組を放送する場合があるので情報を差し替えている。ご加入者からいただく月額利用料が収入のほとんどである。

質問⑤ 通販番組の放送時間が増えているように思うがどうか。

回答⑤ 以前より増えている。また、デジタル 112、113CHでも放送している。地上波でも通販番組が多くなってきている。なお、J:COMチャンネルのハイビジョン化にむけて、チャン

ネル増を検討している。

(放送エリアのダイジェスト映像に沿って、番組内容を説明)

質問⑥ 番組制作は外部のスタッフに委託することがあるのか。

回答⑥ 番組によって異なる。人数が多く必要な野球大会の収録などは、外部スタッフと協力して制作している。

質問⑦ 地元のお店の情報は、先方から情報提供があるものなのか。

回答⑦ 基本的には制作スタッフが探してきてから取材交渉をしている。

質問⑧ 他のメディアセンターはどこにあるのか。また、センター間での番組交換はしているのか。

回答⑧ 札幌、仙台は単局である。東関東、東京、神奈川、関西、西日本はいくつかの局を担当している。センター間の番組交換の事例はさほど多くはないが、全国統一番組として、月～金の19時に(つながるセブン)を生放送している。

質問⑨ 地上波はどこも同じような番組ばかりである。テレビを見る時間のある世代にとってJ:COMチャンネルが最後の砦のような存在である。温泉めぐりの番組や以前放送していた「かんとう見聞録」のような紀行番組を今後も続けてほしい。

回答⑨ 50代以上の方の視聴が多いと認識しているのでご意見を大事にしていきたい。一方で若い世代向けの番組も22時台に日替わりで設定しており、いろいろな年齢層に幅広く視聴していただけるよう努力している。

質問⑩ ゼルビアがJ2に昇格できなかった一因として、地元の施設力がなかったように思う。J:COMとしてサポートはしないのか。

回答⑩ 番組コンテンツでのサポートをしている状況である。本放送では3時間枠がとれないので、VODで配信している。昇格してしまうと放映権が異なるため、これまでのように自由に取材ができなくなってしまうことも考えられる。

質問⑪ 神奈川メディアセンターの首長を集めて政治討論会を放送するのも面白いと思う。また、エリア内の商工会議所などに協力を依頼して番組制作に役立ててはどうか。

回答⑪ 13行政区の首長を集めるには、なかなかスケジュール調整が難しいと思うが、検討してみたい。JAと連携して地域の隠れた名産品などを紹介するのもよいと思われる。

質問⑫ 停電が起こった際の非常用電源はどのくらいもつのか。また、名刺に印刷されているチャンネルはなにか。

回答⑫ ヘッドエンドや伝送路の非常用電源は 3～4 時間はもつようになっている。名刺にはJ:COMが出資しているチャンネルが印刷されている。

**【要望・提案】**

◎ ほのぼのとしていて心安らぐ番組が多い。飲食店の番組は地上波ではB級グルメとして扱われてしまうだろうが、地元では有効な生活情報である。

◎ 知人が番組に出演していることがよくある。それだけ番組に親しみが持てる。

→ 放送エリアが広がったことで、情報が薄くなってしまうことが心配であったが、番組の内容が良くなったり、沿線情報が得られたりして、これまでよりも視聴機会が増えたとの評価をいただいている。

以上